



Bauhaus Project



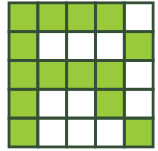
Architecture  
Presentation

architect  
Tsutomu Hasebe

長谷部 勉



建築家と建てる家を、  
身近に、手軽に



R+house

注記文

※建築家住宅(建築士の資格を有する独立した建築家により基本設計された住宅)  
主要供給事業者9社における2017年度～2019年度新築供給数  
(株)矢野経済研究所調べ 2020年8月現在







担当建築家

長谷部 勉

H.A.S.Market@東京

Hasabe Tsutomu

敷地の固有性と生活の多様性を読解し、  
その場所だけ、そこに住む人だけの豊かで快適な家づくりを心掛けています。  
情報やイメージを共有しながら、ひとりよがりにならない設計のプロセスを踏むことを  
大切にしています。いかなる問題にも妥協することなく効果的な解決策を見出しながら  
価値のある家をつくり続けたいと思っています。

## Profile

1968年7月	山梨県出身。
1991年3月	東洋大学工学部建築学科 卒業
1991年4月	株式会社堀池秀人 都市・建築研究所 入社
2000年4月	株式会社服部建築計画研究所 入社
2002年5月	株式会社アイ・ビー・エス 入社
2002年12月	有限会社 H.A.S.Market 設立
2005年10月	日本フードアナリスト協会 評議委員
2006年9月	東洋大学非常勤講師
2013年4月	一般社団法人 建築家住宅の会 理事

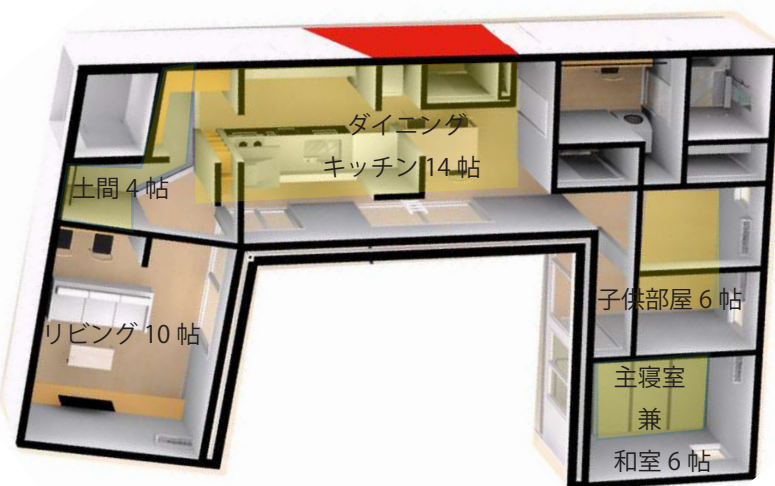
敷地面積：258.12 m<sup>2</sup> (70.08 坪)

1 階床面積：84.47 m<sup>2</sup> (25.55 坪)

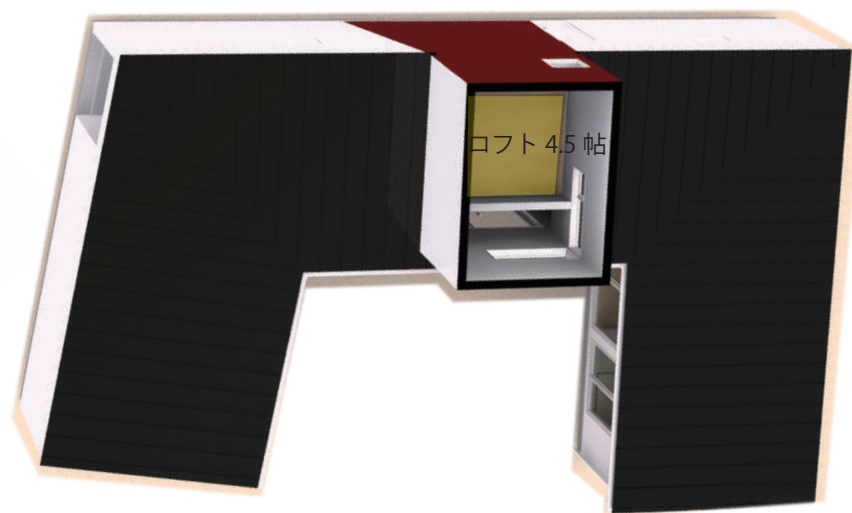
2 階床面積：7.45 m<sup>2</sup> (2.25 坪)

延べ床面積：91.92 m<sup>2</sup> (27.80 坪)

1F



2F



# 想いを灯す家

## POINT①

遊び心盛りだくさん！！ボルダリングと秘密基地のある家

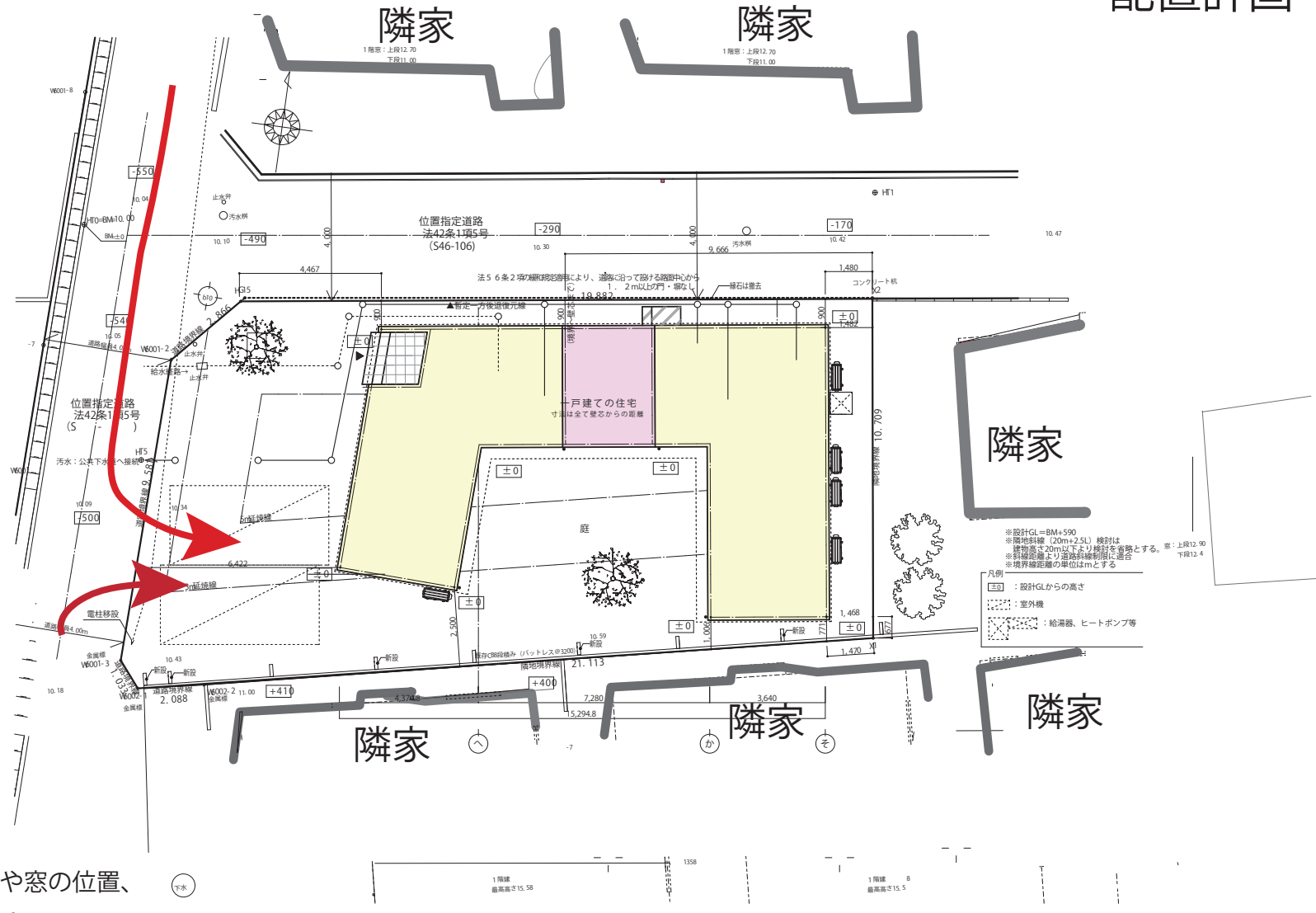
## POINT②

周りを照らす街灯のようなデザイン

## POINT③

パブリック空間とプライベート空間を繋ぐ光の庭

## 配置計画



隣家の位置、玄関や窓の位置、高さ等も計測します。

そのデータをもとに建築家は現地を調査し、  
視線・風の抜け方・光の入り方、  
隣家や周辺からの見え方等を総合的に見て、  
その敷地に合ったベストな設計をします。

## POINT

●本来ならば南側にスペースを設け開放性を得るが、南側に隣家がありそれが困難になる為、建物をコの字型にすることでできた空き地に中庭の機能を与えることとした。

周辺の家や道路との調和を図りながら、南側にプライバシーが高く明るい庭を設け、そこを囲うように内部空間を配置することで、人目を気にすることなく開放的に生活できるような配置計画。



# 1st floor

## 玄関・土間

実家からよく野菜をもらうことが多いので保管できる場所が欲しい。コートを掛けたり出来るお出かけコーナーとかいいな。雨がしのげる程度の自転車置場があるといいな。

土間を一部凹ませることで一時的に自転車も置けるようにしました。土間には、コート掛けを配置。カッパや傘が濡れていても気にせず置くことができます。また、観葉植物やご両親からもらった野菜を置いたり、ベビーカーや三輪車などを置けるようにし、何にもない土間よりあえて生活感を出し自由に使える土間にしました。

スタディースペース

## リビング

リビングは庭に面していて明るいほうが良いな。子供達がリビングで勉強できるようなスペースも欲しい。

パブリック空間

プライベート空間

ボルダリングスペース

ダイニング・キッチン

庭



ボルダリングスペースを中心にプライベートとパブリックな場所を分け、リビングに直接お客様を招き入れるリビングアクセス型を設けました。日本の家は、ほぼ北側から入って南側に最後リビングがあるので寝室や水回りを通してリビングへ行くが、リビングを最初に設けることで来客の際にリビングにすぐお客様を招き入れられるのでとても理にかなった間取りだと思います。スタディースペースも設けお子様が勉強したりゲームしたり、皆が集まってリビングで過ごすことが出来るようにしました。

## ダイニング・キッチン

子供と一緒に料理を楽しみたい。対面キッチンで家族が繋がっているかんじがいい。キッチンを中心に明るくて、自然と皆が集まって来る感じとか素敵だな・・・

建築家ポイント！  
要望+αの提案！！

家の中の司令塔として、キッチンからリビング・ダイニング・庭などすべてを見渡すことができます。また、玄関からの家事動線もスムーズで、回遊性も持たせているので広々として使いやすくお子様との料理も可能ですし、キッチンの続きにダイニングテーブルを配置することで配膳や片付けがスムーズに行えます。

キッチンの後ろには、大きなパントリーとカウンターを設け買い物した食材はもちろん調理器具なども十分収納できます。

北側には勝手口を設けてここからゴミを出したり、ご実家からいただいた野菜なども出し入れができます。

建築家ポイント！  
要望+αの提案！！



## 洗面・脱衣スペース

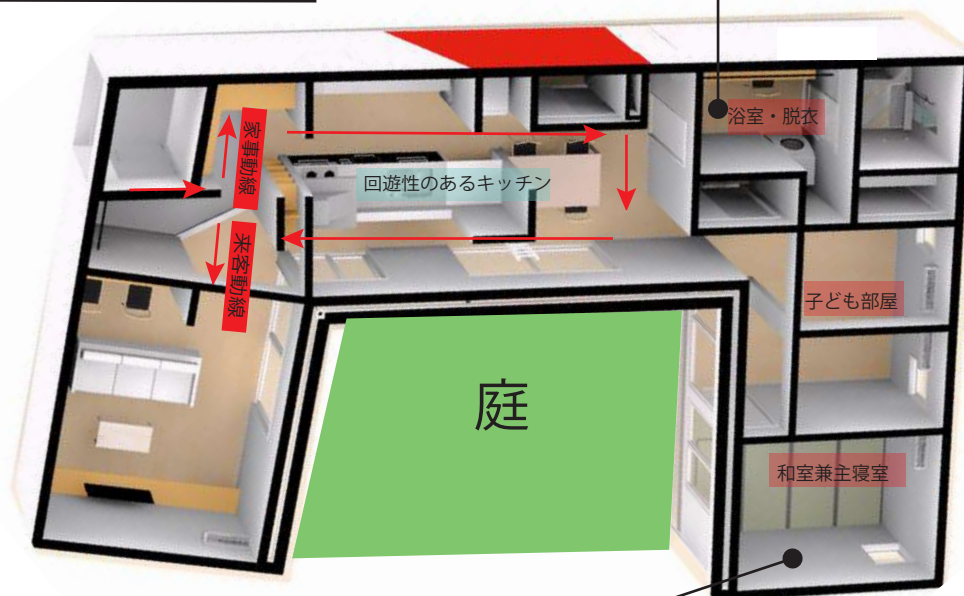


料理しながら、洗濯物→干すといった動線にしたい。  
洗濯してそのまま同じ場所に部屋干して、畳んだ衣類はそのまま掛けられるのが理想。



キッチンのすぐ横に洗面スペースを広めにとって造作カウンターを付けました。カウンター上部に部屋干しスペースを作ることによって、洗濯→干す→そのまま着るなんてことも可能です。洗濯に関する家事動線が、ほぼこの空間で完結します。

建築家ポイント！  
家事動線と空間のつながり



## 和室兼主寝室・子ども部屋



主寝室は寝るだけの広さがあれば十分。布団派なので畳がいい。畳があると落ち着く。子ども部屋は将来分けれるようにしたい。

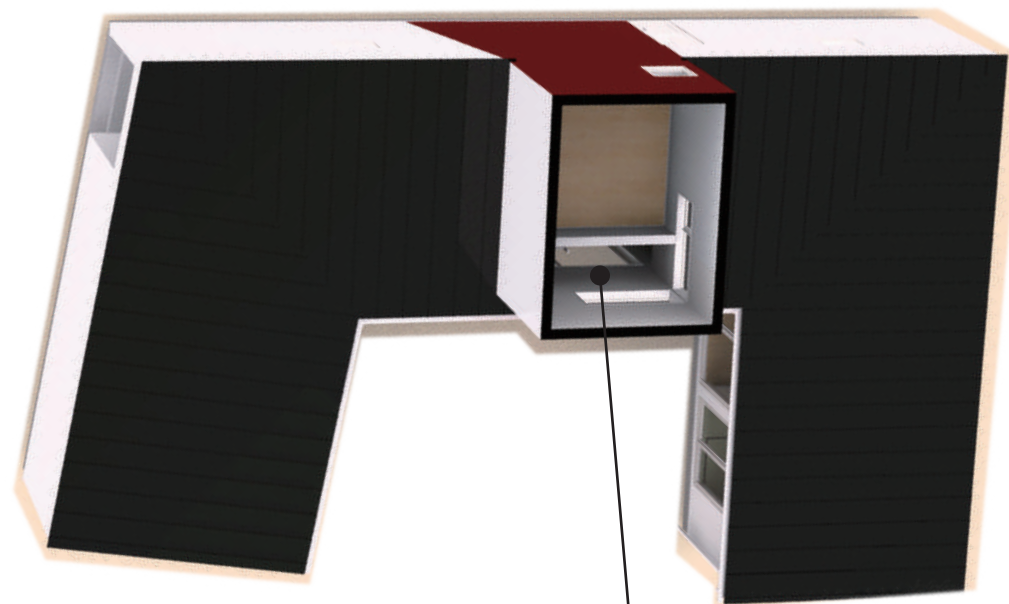


主寝室は和室兼用とし、布団が2枚敷けるスペースを確保。子供が小さい内は家族皆で寝ることも可能です。お子様に個室が必要になったらそれぞれの子ども部屋を使っていただければと思います。それまではご主人や奥様の趣味の部屋として使えるし、ゲストルームの役割も果たしてくれます。

建築家ポイント！  
可変性のある間取り！！







## ロフトスペース



もともと山登りをしていたので、ボルダリングをずっと  
やってみたいと思っていた。  
家の中でボルダリングがどこか出来るといいな。  
あと、近くで花火が上がるので花火が見えるようなロフト  
的なこもり部屋が欲しい。



中央に設けたキッチンとダイニングの上部には屋根裏収納を  
設け、それに物見台としての機能を付与することで、物見台に  
登ると辺りは一斉に開けるといった構成にしました。  
その物見台は光を貯める貯蔵庫としての役割を併せ持つとともに  
、この家のシンボルになるでしょう。  
キッチン前にボルダリングの壁を設け、2階部分から光を取り  
入れ光の筒の中でボルダリングするような配置とし、2階部分  
は360度見渡せる展望台にもなり、念願の花火も十分に見るこ  
とができます。

建築家ポイント！  
要望 + α の提案！！



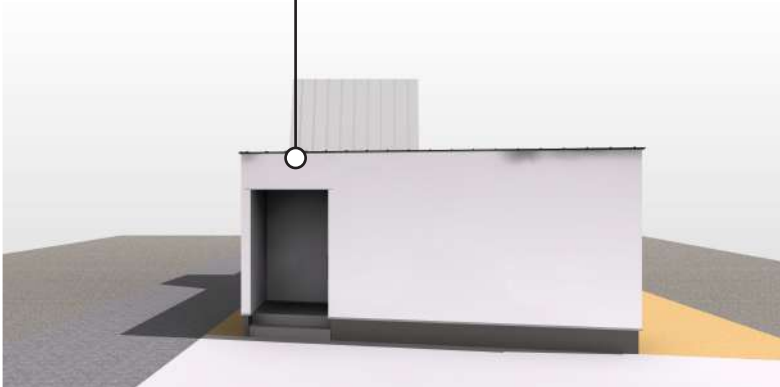
西側と東側を繋ぐ南に開いた中庭。隣家との距離を確保しつつ、太陽の光をたっぷりと取り込めるよう窓を配置。囲われているため視線も入らない。

南



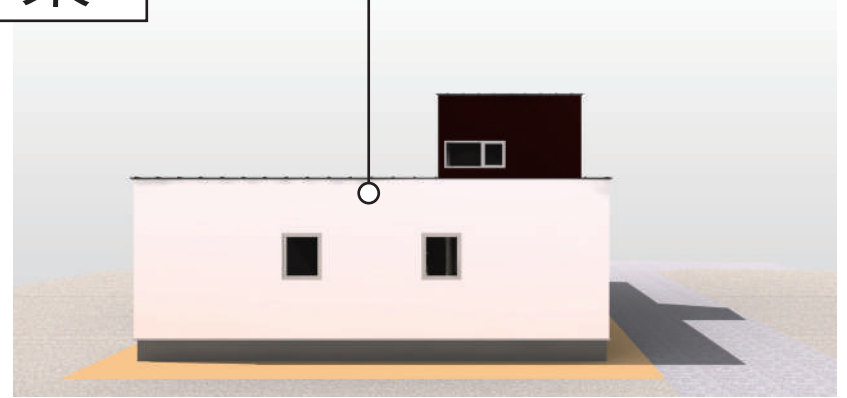
プライバシーを考慮し、玄関から室内へ入るとき室内が見えないようなドアの位置。道路側のため閉じたイメージに。そうすることで道路からの視線も気になることなく、西日も入りにくい。

西



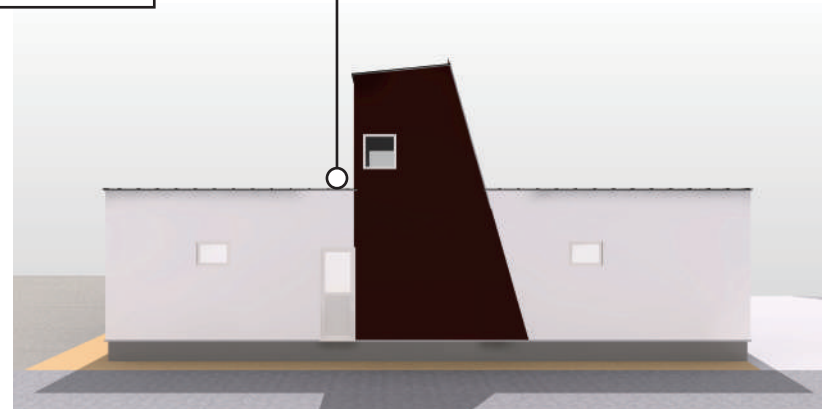
東側は隣家があるため、北側同様視線に考慮された窓の配置でプライバシー性を保っている。

東



道路沿い＋向かいに隣家があるため大きく開かず北から入る柔らかな光を取り込める窓の配置。

北



## 熊本風配図

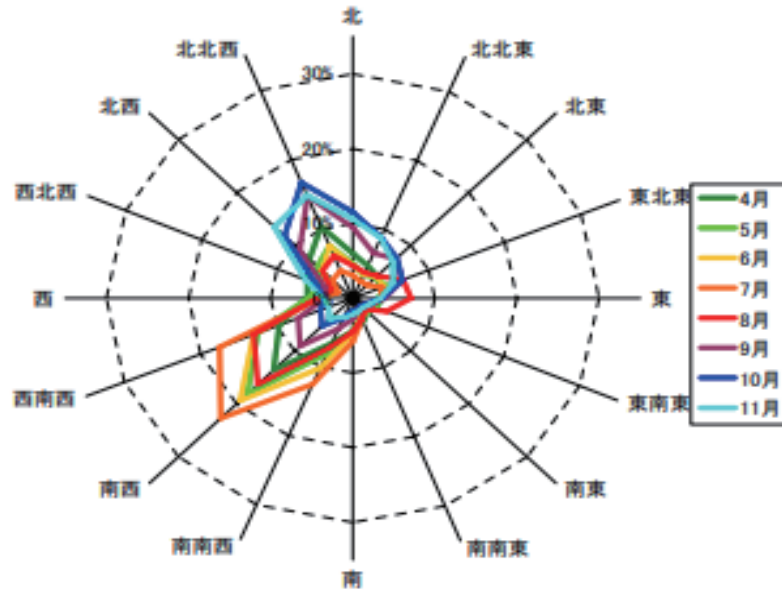


図4a 月別風配図(起居時)

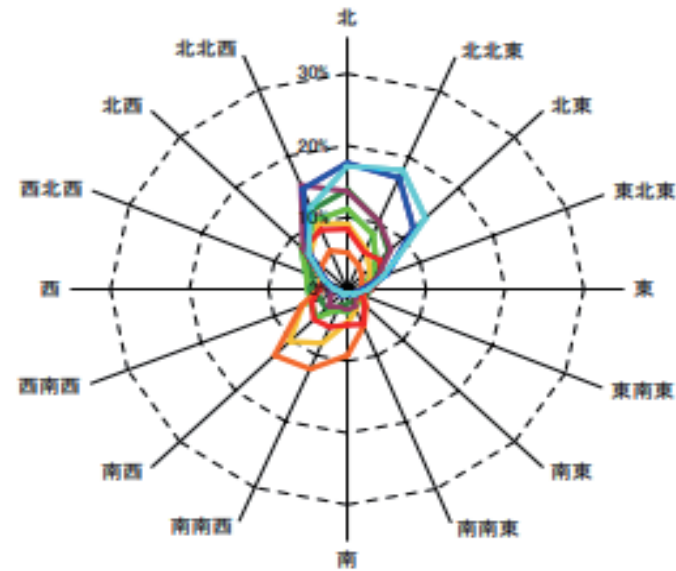


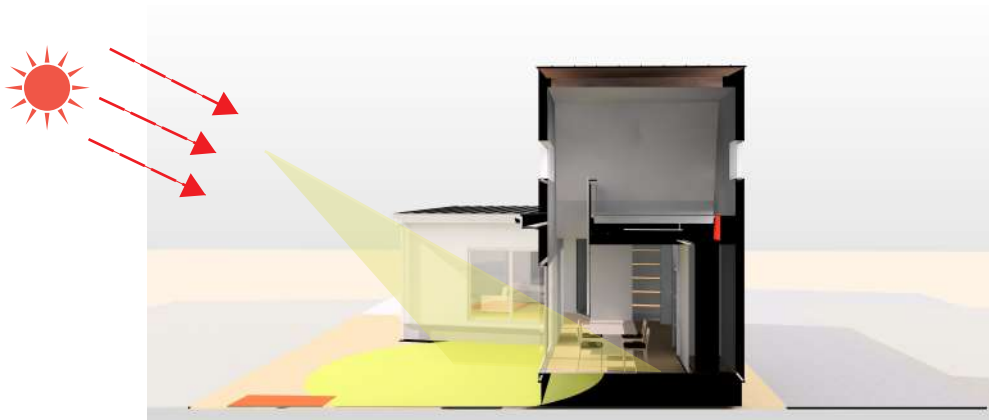
図4b 月別風配図(就寝時)

風配図とは、各方位の風向および風速の頻度を表した図です。

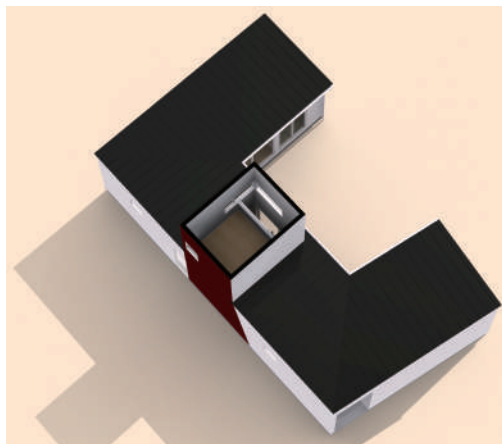
建築家は周辺の建物や環境を実際に目で見て、データと照らし合わせながら風の向きや、入り方なども計算して「窓の配置」「窓の種類」「建物の配置」を決めていきます。

冬は部屋の奥まで光を取り込み暖かく、夏は窓から入る直射日光を避け、涼しく自然の力を最大限活かしたパッシブ設計。

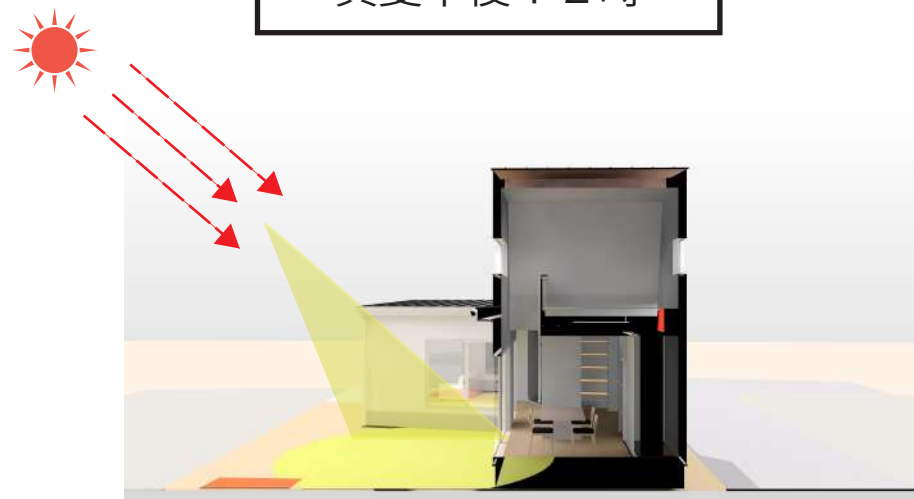
真冬午後12時



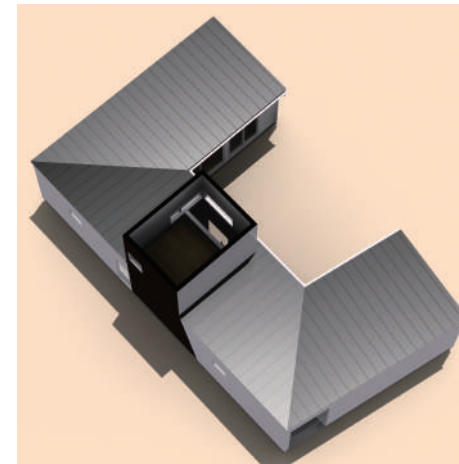
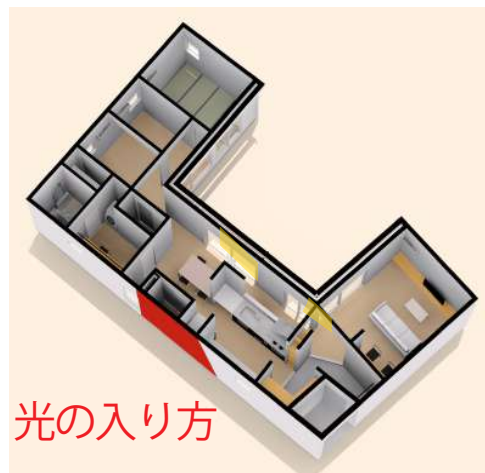
(冬至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が低くなる為、太陽が西に傾く頃、窓から部屋の奥まで暖かい光を取り込むことができる。



真夏午後12時



(夏至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が最も高くなる為、軒を出して日射を遮り、室温の上昇を抑える。



夏と冬では太陽の位置が異なります。建築家は季節ごとに変わる太陽の動きも熟知した上で設計します。